

当院修正型電気痙攣療法におけるレミゾラム・プロポフォール・チオペンタールの痙攣持続時間及び刺激有効性への影響調査

1. 研究の対象

2024 年 1 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日までに岩手医科大学附属病院（以下、当院）精神科において修正型電気けいれん療法（mECT）を受けた患者。

2. 研究期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 1 日まで。

3. 研究目的・方法

- ・この研究は当院での mECT における鎮静薬の使用実態を明らかにしたうえで、使用鎮静薬毎にけいれん持続時間（EEG seizure duration）、mECT の有効・無効の結果を比較する事を目的としています。
本研究に関する情報を本学、実施中の臨床研究に関する情報公開ページに公開し、対象者が研究協力を拒否する機会を十分に保障します。
- ・患者さんの診療情報（電子カルテ）より、治療セッションごとの使用鎮静薬（チオペンタール、プロポフォール、レミゾラム）けいれん持続時間（EEG seizure duration）、その回の mECT が有効であったかあるいは無効であったかの結果についてデータを取得します。

4. 研究に用いる情報

治療セッションごとの

- ・性別、年齢、疾患名、既往歴、内服薬
- ・使用鎮静薬（チオペンタール、プロポフォール、レミゾラム）
- ・けいれん持続時間（EEG seizure duration）、
- ・mECT の有効あるいは無効の結果

本研究で取得した上記の情報は、研究終了日から 5 年または結果公表日から 3 年（いずれか遅い日）保存した後、適切に廃棄いたします。また、上記の情報は、将来別の研究に二次利用する可能性があります。

その場合、岩手医科大学ホームページ（実施中の臨床研究に関する情報公開）に新たに計画・実施される研究に関する情報を公開し、対象者に周知したうえで利用いたします。

5. 研究費および利益相反

本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。なお、本研究に必要な費用は、麻酔学講座の講座研究費より支出されます。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究事務局：岩手医科大学附属病院麻酔科医局

岩手医科大学医学部麻酔科学講座

熊谷 基

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1 - 1

TEL：019-613-7111(内線 2465/2466)

E-mail: motoij@iwate-med.ac.jp

研究責任者：熊谷 基

岩手医科大学医学部麻酔科学講座

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1 - 1

TEL：019-613-7111(内線 2465/2466)

E-mail: motoij@iwate-med.ac.jp

-----以上